

年 組 名前 :

問1

富士川町は、どこに

公共用ヘリポートを

整備する方針ですか。

..... 町 町の

問2

公共用ヘリポートと非公共用の

違いを教えてください。

..... 公共用

..... 非公共用

問3

富士川町は、このヘリポートができることで、どのような利点があると考えていますか。

.....

公共用ヘリポート整備 交通拠点、災害時活用も

富士川町方針



富士川町は4日、同町青柳町の富士川河川敷に、民間企業など不特定多数の事業者が使用できる公共用ヘリポートを整備する方針を明らかにした。実現すれば県内初で、交通の拠点としての活用や災害時の使用を想定している。11日から騒音調査などを目的としたヘリコプターの試験運行を始める。

町都市整備課によると、ヘリポートには公共用と非公共用がある。非公共用は警察や消防、病院など特定のヘリコプターの離着陸に使用されるのに対して、公共用は不特定多数の事業者、団体が使用できる。町などによると、公共用ヘリポートは4月末時点で全国に12カ所あるが、県内にはない。

整備予定地は道の駅富士川の約500m南の河川敷。町が計画する「富士川リバーサイドパーク構想」の一環で、富士川沿いを周遊の拠点にした地域のにぎわい創出や誘客につなげる狙いがある。東京圏などからビジネスや観光で訪れる人の利用を想定している。将来的には人を乗せて空を飛ぶ「空飛ぶクルマ」など次世代モビリティへの対応も視野に入れている。

10月に国土交通省から臨時にヘリコプターが離着陸できる場外離着陸場としての使用許可を得たことから、今月11日に試験運行を始める。騒音調査や気象観測などを進め、課題や詳細な運用方法、整備費用などを検討する。完成までには数年かかる見込み。

望月利樹町長は4日の定例会見で「県内の空の拠点と位置付けている。地域間の新たな交通手段として活用できるよう計画を進めたい」と話した。〈深沢滯〉

(2024年12月5日付 山梨日日新聞 15面)